

授業科目名： **事業戦略構築論（森本）**

科目区分： 戦略・マーケティング（コア）

必修・選択の別： 選択

配当年次： 1 年次

単位数： 2 単位（学習期間 1 学期）

担当教員： [森本 晴久](#)

オフィスアワー（授業相談の受付）：

e ラーニングサイトおよびメールでの質疑応答を受け付けています。

（メールアドレスは大学院グループウェアのアドレス帳でご確認ください）

1. 授業の概要

新規起業、社内新規事業を問わず、新規ビジネスの立ち上げプロセスにおける要点を理解し、受講者のアイデアを実際の企画として形成していきます。またこの過程において、受講者のアイデアや企画を、主に投資家の視点から多角的に分析・評価し、現実のビジネスとなるレベルまで磨いていきます。同時に、優れた経営者・リーダーに必要な資質やマインドを、実務に接している投資家のインタビューを通じて理解します。自らのあり方や生き方、そしてその存在意義について自問自答し、リーダーとしてよりよい人生を歩むこと、優れたリーダーとして飛躍していく人材を育成していくことを目指します。

2. 学習目標

本講義では、良質な企業戦略の組み立て方と、重要ポイントを習得します。この過程において、なぜ競合調査、市場調査、コアコンピタンスの検証等のプロセスが重要なのか、その理由も含めて理解することで、効果的で実用的な調査・検証の視点を獲得できます。このため講義内では実習を設けており、受講者はワークシートを作成し、企画を自己評価し、論点を整理します。講義後半ではケーススタディを通じ、受講者自身の企画の再評価をブラッシュアップしていきます。講義終了時に、受講者が次回からどうしたら起業・新規事業開発の戦略を練り上げ、戦略構築すべきか理解出来るようになる事が最終目標です。

3. 授業計画

第 1 章

- ・事業戦略構築論（新規ビジネスの立ち上げにおける要点）

授業のアウトラインの説明、起業前のチェックリスト、プロの事業投資家の目線から「魅力的な事業」の要素を学ぶ～投資家の 10 の注目点～、事業計画書の実例

第 2 章

- ・新規ビジネスの評価ポイント（投資家の着眼点からの評価） I

投資家の注目点①事業に高い志があるか、②事業ビジョン…哲学はあるか、③ニーズは明確か？市場把握しているか？④市場に何を提供するのか及びミッション、ビジョン、経営理念の例についての解説

第 3 章

- ・新規ビジネスの評価ポイント（投資家の着眼点からの評価） II

ポジショニングとブランディング（ブランド構築を目指す）、投資家の注目点⑤強いコアコンピタンスを持っているか、⑥競合はいるか、⑦不公平な優位性はあるか

第 4 章

- ・新規ビジネスの評価ポイント（投資家の着眼点からの評価） III

投資家の注目点⑧ビジネスモデルは出来ているか、⑨プロトタイプは既にあるか、⑩人はどうか

第5章

- ・ワークシート実習（ワークシート作成による、企画の自己評価と、論点整理）、ワークシート提出
ワークシートを使ってみる、なぜビジネスは失敗するのか（ビジネスの失敗を招く10+1の致命的な間違いについて）

第6章

- ・事業戦略構築論（社内ベンチャー 新規プロジェクトにおける要点）
社内ベンチャー（新規事業企画）と独立起業を比較する。社内ベンチャー「新規事業プロジェクト12の成功要因」の解説。〈事例〉日本ビクターのVHS開発での実例

第7章

- ・投資家の視点 インタビュー①
本章の講義についての解説、橋本瑞彦氏インタビュー、安永謙氏インタビュー

第8章

- ・ケーススタディ（ワークシートによる企画評価と論点整理）を通じた自身の企画の再評価+論点の再整理 I
記入済みワークシートへのFeedBack 1（事例を基にした解説）

第9章

- ・プレゼンテーション準備（プレゼン資料の構成要素と、各要素の要点）
ビジネスプランを考える。事業戦略を練り、書くこととは何か。ビジネスプランのハイライトの解説。ビジネスプランのポイント構成、財務計画の作り方。プレゼンテーション・フォーマットの解説（プレゼンテーション資料の必須項目：事業コンセプト、問題提起、解決法の紹介、自己紹介（コアコンピテンスの説明））

第10章

- ・ケーススタディ（ワークシートによる企画評価と論点整理）を通じた自身の企画の再評価+論点の再整理 II
記入済みワークシートへのFeedBack 2（事例を基にした解説）、記入済みプレゼン資料へのFeedBack 1

第11章

- ・ケーススタディ（プレゼン資料による企画提案）を通じた、自身の企画の提案準備 I
記入済みプレゼン資料へのFeedBack 2

第12章

- ・ケーススタディ（プレゼン資料による企画提案）を通じた、自身の企画の提案準備 II
記入済みプレゼン資料へのFeedBack 3

第13章

- ・ケーススタディ（プレゼン資料による企画提案）を通じた、自身の企画の提案準備 III
記入済みプレゼン資料へのFeedBack 4

第14章

- ・投資家の視点 インタビュー②
本章の講義についての解説、櫻井歩身氏インタビュー、中野宏信氏インタビュー

第15章

- ・ケーススタディ（プレゼン資料による企画提案）を通じた、自身の企画の最終点検
記入済みプレゼン資料への最終FeedBack、本授業の総括

4. 受講上の留意点

大学の既定のスケジュール通りに遅延なく受講してください。

5. 成績評価基準

ディスカッション（60%）+第2回ワークシート（15%）+第3回ワークシート（15%）+平常点（授業への参加度

など) (10%)

6. 必読書籍・参考書籍

必読書籍： 特になし

参考書籍： 「ビジョナリー・カンパニー 2 - 飛躍の法則」ジェームズ・C・コリンズ著

「ブルー・オーシャン戦略 競争のない世界を創造する」W・チャン・キム、レネ・モボルニュ著

「週 4 時間だけ働く」T・フェリス著 (英語版がお勧め)

7. その他

・既に過去ビジネスプランを書いた経験者

・「ビジネスプランの書き方」に類する書籍を過去読んだ事のある人または、実践的な社会経験を通じてビジネスプランの書き方がある程度心得ている人。